

283 ^{67}Ga -citrateの全肺野びまん性分布につ

宮崎医大 放射線科

渡辺克司、川平幸三郎、星 博昭、山田浩己

九大 放射線科

一矢有一

胸部X線像との対比において、 ^{67}Ga -citrateは肺癌を始めとする様々な肺疾患で、病巣部位に一致した高い取り込みが認められる。従つて、腫瘍性病変では肺門部、従隔部などへの病巣の進展を明らかにし得る点で、また、非腫瘍性病変では主として病巣の活動性を知り得る点で有用な補助診断法となつている。ところで、われわれは胸部X線像ではほとんど異常所見が認められないにもかかわらず、 ^{67}Ga -citrateによる胸部シンチグラムでは、両肺野にほぼ均等に高い分布を示す症例を経験した。このことから、限局性病巣部位以外に両側肺野にほぼ均等に、びまん性に ^{67}Ga -citrateの分布が認められた症例について分析し、その原因について検討した。

対象とした症例は、昭和52年11月から昭和54年4月までの1年6ヶ月間に ^{67}Ga -citrateを用いて検査を行った237例(278回検査)である。

検査は ^{67}Ga -citrateを3mCi静注し、3日後に病巣の存在が疑われる部位を含めて全身を対象として行つた。胸部の検査は前胸部および背側部よりの両方向から行つた。用いた検出器はSearl製シンチカメラ(LF0V)である。

X線像での病巣部に一致した高い集積の他に、胸部シンチグラムにて全肺野にびまん性にほぼ均等な集積像が認められ、その程度は心陰影に一致した低放射能領域が認められ、体輪郭のバックグラウンド領域とは明らかに区別し得る程度の集積を示した場合を、全肺野への分布像と判定した。

全肺野への ^{67}Ga -citrateの集積と判定された症例は16例であつた。これら16例のうち8例については、胸部X線像との対比において、全肺野への分布を説明可能であると思われた。しかし、残りの8例については胸部X線像にて該当する異常所見が認められなかつた。その内訳は悪性リンパ腫の6例と肺癌の2例である。これらの症例において、X線像にては認め得ない散布巣の存在を完全に否定することはできないが、その臨床経過からはこの可能性はむしろ否定的である。これらの症例において、共通して認められる因子の一つは、抗がん剤の使用であつた。初めに、病巣部に高い集積像を示し、抗がん剤の使用後には全肺野への分布像のみを示し、数ヶ月後には正常となつた症例を経験した。

284 ^{67}Ga の肺門への生理的集積の検討
東京慈恵会医科大学 放射線科

山岸二郎、小林はる美、加藤仁成

山口 学、渡辺 一、久保田進

勝山直文、川上憲司、望月幸夫

^{67}Ga クエン酸静注48~72時間後の検査で、正常例でも肺門へのGaの集積が認められることがある。日常の診療に際し、肺門部への集積が生理的であるのか、または異常集積であるかの判定にしばしば困難をおぼえる。そこで我々は年令、男女、疾患別に症例を分類し、Gaの肺門への生理的集積について検討した。

対象は胸部ガリウムシンチグラフィーを施行した253例である。内訳は悪性腫瘍が多く218例で、乳癌49例、悪性リンパ腫41例、肺癌28例、食道癌15例、胃癌11例、その他の悪性腫瘍74例で、その他に肺の炎症性疾患7例、その他28例である。これらのうち、胸部X線またはその後の経過観察より肺門に異常なしとした214例について今回は検討した。

^{67}Ga クエン酸2~3mCi静注72時間後ICRI多面断層装置(Pho/Con)にて、断層間隔1.9cmの条件で撮像した。

肺門のGaの集積程度を次の4段階に分類した。(+)；集積が認められないもの。(+)；肺門部にGaの集積を認めるが、異常集積とは云い難いもの。(++)；かなり強いGaの集積を認め、生理的か異常かの判断が困難なもの。(+++)；明らかに異常集積として認められるもの。今回は(+++)は異常例として除外した。

(+)および(+++)は対象214例中45例(21%)であつた。年令別では、30才以下では15例中全例(-)で0%。30才台42例中6例(13%)、40才台41例中4例(10%)、50才台47例中6例(13%)、60才台37例中13例(35%)、70才以上34例中18例(55%)であつた。(++)の症例は3例のみであつたが、全て70才以上の症例であつた。

男女別では、男性114例中27例(24%)。女性100例中18例(18%)で、男女間にはっきりした有意差は認められなかつた。

また、次の様に症例を分類し、特に悪性腫瘍例とそうでないものとのGaの集積程度を比較した。Group I；全身のGaシンチで異常を認めないもの。a)悪性腫瘍でないもの。b)悪性腫瘍群。Group II；Gaスキャンで異常集積を肺門以外に認めるもの。a)肺、縦隔外に異常集積を認めるもの。b)肺、縦隔に異常集積を認めるもの。肺門へのGaの集積が認められたものはIa群34例中6例(17.6%)、Ib群93例中19例(20.4%)、IIa群46例中9例(19.6%)、IIb群41例中11例(26.8%)と各群間に有意差は認められなかつた。

以上より、Gaの肺門への生理的集積は加齢とともに増加し、特に61才以上では高率に認められた。